

「広島経済復興応援プロジェクト」のご提案

広島を
元気に

ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、日本経済に甚大な影響を与える中、私たちの住む広島県におきましても、業種・業態を問わず多大な被害が及んでいます。みなさまが事業の再開、経済の回復に向け必死で前に進もうとされているこの状況において、私たちの携わる「デザイン」で何か出来ることはないか。お役に立てることはないかと、無力感を抱えながら日々模索しておりました。

そのような想いから、デザインで広島の経済復興を支援する本プロジェクトを立ち上げさせて頂きました。つきましては、趣旨ご賢察・ご検討の上、ご協力賜りますよう何卒お願ひ申し上げます。

株式会社アンツデザイン

動機

目的

デザインによるコミュニケーションで
地域経済への貢献を × **休業や外出自粛、消費の抑制から発生した
『利益』損失の回復を**

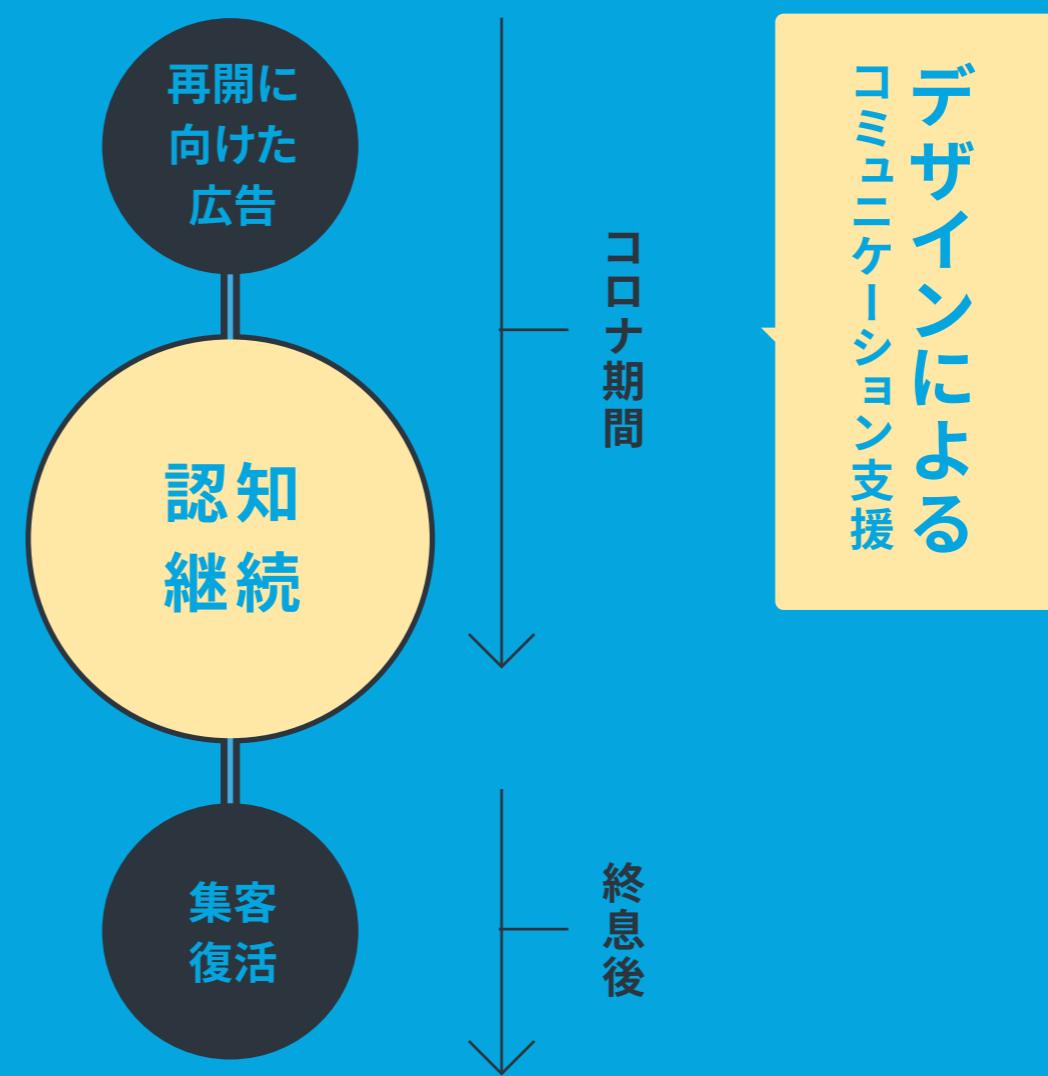
デザインで広島という地域経済の復興に貢献するとともに
地域経済を支える企業の集客の回復に貢献する。

新型コロナが終息しない限り、根本の解決は困難です。
そのような状況下において、従来のプロモーションで
短期的に集客の回復が見込めるのでしょうか。

ワクチンの開発が見込めない限り
長期戦になると予測されます。
つまり、様々な業種・業態においても
長期的なロードマップが必要です。

あくまで、集客を最終ゴールとして
コロナの終息までの期間は、

コロナ終息後に消費者が
戻ってくるよう、
消費者の記憶に残り続ける
必要があります。
そこにデザインが
お役に立てると考えます。



認知の継続には強いインパクトが必要です。
では、どのようにしてそのミッションを達成するのか。それは、

業態や企業の枠を超え、
地域の皆さんに賛同されるメッセージを
世の中に発信することが必要。
そして、人や街の気分を変えることです。

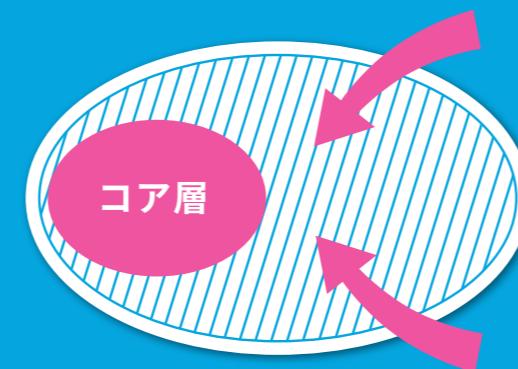
そこで、地域の人に賛同されるデザインを使用することで、興味と関心を高めます。

■従来のターゲット層



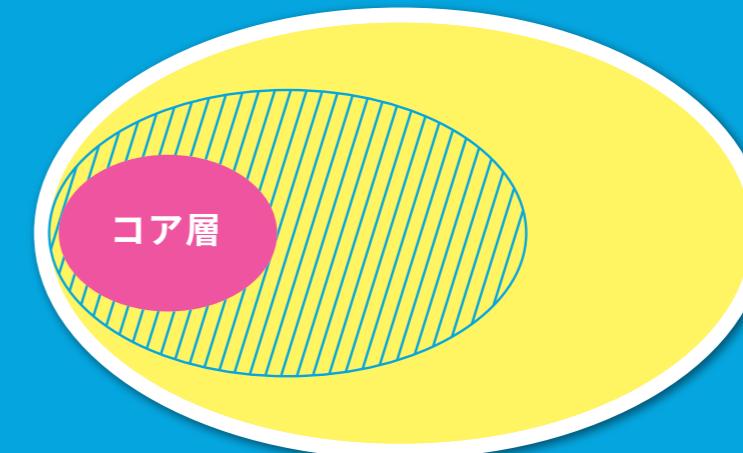
[コア層もライトなユーザー層も
リーチできる状態]

■コロナ期のターゲット層



[コロナ禍によって縮小・限定された
ターゲット層]

■本企画がリーチできるターゲット層



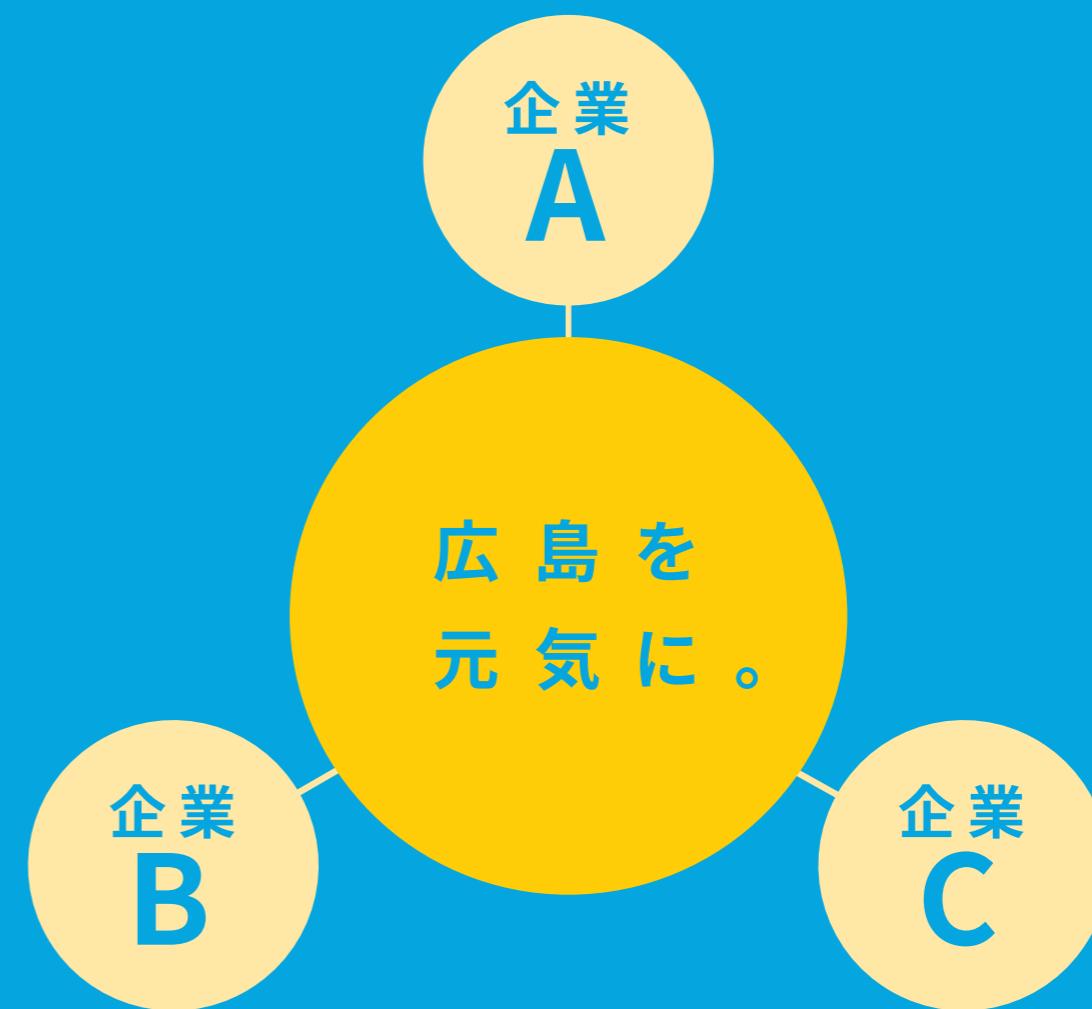
[コア層・ライトユーザー層から普段は
リーチできない層までカバー]

「多くの賛同を得る」ということは、減少した顕在・潜在顧客を越えて、
自社のサービスや製品を認知していない層へのリーチが見込めます。



上図のデザインを、各企業さまの
広告・販促ツールに展開します。
さまざまな場所で一つのビジュアルと
メッセージが掲げられていれば
顧客や街の空気を変え、強い印象を与える
ことが出来ると考えます。

共通ロゴを各販促ツールや広告媒体に展開



01:チラシ



02:ポスター







企業広告枠

企業広告枠

企業広告枠